

はのぼの生活

さざんかの郷 福祉情報誌

2015年
新春号

発行 高齢者総合福祉施設「さざんかの郷」 三木市吉川町大沢418番地 TEL.0794-72-1170

明けましておめでとうございます
本年もよろしくお願いします

2015年元旦



多くのひつじが幸せの花を
2015年へ運んで
いきますように!!

謹賀新年

信条は常に、
「**労り 慈しみ 思いやり**
相手の立場で考える」



「春は花 夏は緑に 秋もみじ 冬うらが
れて暮るる年かな」

月日の経つのは本当に早いもので、
四季折々に様々な思いを感じながら平
成26年が暮れ、また新たな年である

平成27（2015）年の始まりを迎えました。

平成9年に設立された当法人も、特別養護老人ホ
ームやケアハウス等の施設福祉事業を基盤として、
今日では在宅事業や障害者支援事業、また三木市委
託事業等も含め、23事業を運営をするまでの規模と
なりました。

福祉の分野は、母子・児童から成人や高齢者まで
と幅広く、「住み慣れた地域のなかで、誰もが安心
と安全のもとに、少しでも長く各々の役割をもって
住み続けられる」ことを支援するのが、私達の使命
であると考えています。

『高齢者総合福祉施設さざんかの郷』は、地域の
大きな核となる福祉資源として、皆様方のご理解と
ご支援によって、地元で着実にこれらの実現を目指
して歩んでいます。

そして、今年もまた様々な夢や希望を胸に、新し
い和紙に色々な絵を描きます。

皆様方のご指導を心よりお願い申し上げ、益々
のご健勝を祈念申し上げます。

平成27年 元旦



社会福祉法人 吉 川 福 祉 会
理事長 西 澤 正 一
役 職 員 一 同

デイサービス

有馬温泉まで ドライブ

平成26年11月、鮮
やかな紅葉で色づいた山々を
見ながら、有馬温泉までドラ
イブに行っていました。
「まあ～山が綺麗！ほら、ごらん
なさいな。」「今日は有馬温泉まで来れるとは思っ
てませんでした。ありがとうね。」と普段外出する
機会が少ない利用者さん達は大変喜んでいらっし
やいました。

バスの車中からにぎわう温泉街を見ていると、
まるで皆で旅行に来たような楽しいドライブにな
りました。



がんばる新人スタッフ紹介



利用者の健康管理に留意し、また
新たな出会いを大切にしながら、楽
しく居心地の良いデイサービスづく
りに少しでも貢献していきたいと思
います。
藤 井 政 幸

コミュニティウィンドウさざんか

今年も新しい年を迎え、「コミュニティウィンド
ウさざんか」も4回目のお正月を迎えることがで
きました。「通い・宿泊・訪問」と365日切れ目の
ないサービスを安心して利用していただけるよう
職員一同頑張っております。施設内ではお楽しみ
の手作り料理・外出行事も随時計画しています♪



」A女性会の方々より枝豆
を寄贈していただきました。



キリンピアパークへ外出。お食事♪



利用者様のリクエストに
応えて餃子&パイキング♪



お誕生日は手作りケーキでお祝い♪

ケアハウス

●平成26年秋の思い出● 生け花教室



小規模多機能施設をご利用さ
れている利用者様を先生に迎え、
生け花教室を開催しました。本
格的にご指導いただきながら、
みなさん思い思いにお花を生けられました。

一泊旅行～きのさき～

毎年楽しみにされている秋
の一泊旅行は、きのさき温泉
でした。道中のドライブを楽し
んだり、玄武洞へ行ったり



と天気にも恵まれ楽しい旅行になり
ました。おいしい食べ物やおみやげ
の買い物など大満足！！

次回の旅行が楽しみ♪



芋 掘 り

毎年恒例の芋掘りを行いました。
今年も大豊作で大きいお芋がゴロゴ
ロと！！掘ったさつま

いもは各自焼き芋にしたり、ふかし芋に
したりして秋の味覚を満喫されていました。



こころのせんたく

導いてくれる人を
待っていてはいけません。
あなたが人々を
導いていくのです。（マザー・テレサ）



特養・ショート

風船バレーの練習風景

毎年10月に行われる三木市の施設交流風船バレーボール大会に参加するため、週一回のレクリエーションを兼ね、優勝を目指し利用者と職員が一体になって風船バレーの練習を行ってきました。アタックが得意な方やレシーブが得意な方がおられ、熱のこもった練習をしてきました。残念ながら開催直前になってレギュラーの方が体調を崩され中止になってしまいましたが、早や次回に向けての練習を重ねています。次こそがんばるぞ!!



ユニット特養

ホットケーキパーティ



みんなで順番に粉を練ったあとホットプレートで焼き上げました。そしていよいよ、あんこやフルーツなど、みなさんの好きなものをトッピング!! 最後は、大きな窓から見える田んぼや山ののどかな景色をながめながら、「みんなで食べると美味しいね」と言い合いながらほのぼのと過ごされました!!

次は何を食べようかな?



正職員・パート募集!!

①正・准看護師《正社員》◎変則勤務なし 日勤のみです。
【資格】60歳まで 【勤務】9:00～17:30
【休日】平均月8日・年間公休/100日 ※時間相談に応じます
【給与】当法人規定により優遇
【待遇】賞年2(4.2ヶ月)・各社保完備・交通費支給
《パート》【時給】正看1,450円～ 準看1,400円～
【資格】年齢不問 【勤務】9:00～17:30

②介護職員

特別養護老人ホーム勤務《正社員》

【勤務】3交代制・夜勤有り
【休日】平均月8日・年間公休/100日
【給与】当法人規定により優遇
【待遇】賞年2・各社保完備・交通費支給
《パート》【勤務】7:00～19:30 ※時間相談に応じます
【資格】18～60歳位まで 資格不問

③登録ヘルパー

【資格】2級以上・介護福祉士尚可
【時給】身体介護1,400円～ 予防介護1,100円～
*詳しくは下記までお問い合わせください。



高齢者総合福祉施設 社会福祉法人吉川福祉会
さざんかの郷 ☎0794-72-1170

デイサービス別館 さざんかデイサービス

●平成26年 秋の思い出●

秋の日帰りバス旅行

さざんかデイサービス「秋の日帰りバス旅行」は、澄みきった青空と神戸の街並みを見ながら「神戸どうぶつ王国」へ行ってきました。常に「笑い」と「感動」と「やすらぎ」を提供できるかわりを大切にしていますが、予想以上に喜んでいただけたようです。今後も屋外への企画をもっと増やしていきたいと思います。次回をお楽しみに!!



将来に向けてのインターンシップ!!



さざんかの郷において、今年は吉川高校より「インターンシップ」で5名が来てくれました。その中で唯一男性の有田太亮君が、さざんかデイサービスにおいての職業体験となり、5日間戸惑いながらも懸命に取り組んでくれました。今回の体験を生かして、大きく社会に羽ばたいてくれることを、ずっと応援していきたいと思います。



居宅介護支援事業所・在宅介護支援センター

介護保険法が改正されます。

明けましておめでとうございます。平成27年は、皆様と関わりの深い介護保険制度の改正の年です。今回の改正は今までになく大きな変化をもたらします。

超高齢化社会に突入した今、80歳90歳の若者よ! 明るい未来を目指して頑張りましょう。次回から決定した内容の詳細を順次、お知らせいたします。皆様の地域にお伺いし説明もさせていただきますので、会合の時等、気軽にお声掛けいただければ幸いです。

今年も皆様にとって良い年でありますように。



さざんかの郷では
1年中、週に1回は
訪問ボランティア!!
いつもありがとうございます!!



緑が丘ハワイアンクラブとフラの会



大道芸さつき会



大正琴なごみの会



歌と気功の会 ハナミズキ



歌の出前ふれあいステージ



楽しく童謡を歌う会 オアシス



大正琴 和佳の会

管理栄養士 淳ちゃんからの厨房だより

あけましておめでとうございます。
皆様、気持ち良い新年を迎えておられますか？



厳しい寒さが続いています、風邪はひかれていますか？

マスクやうがい・手洗いでウイルスの侵入を防ぐと共にのどや鼻の粘膜を丈夫に保ちましょう。それに役立つ栄養素がビタミンA（カロテン）でレバーや緑黄色野菜に多く含まれています。冬の緑黄色野菜といえば、ほうれん草や小松菜、春菊です。特に小松菜はアクが少ないので、下ゆでせず油でさっと炒めるとビタミンCもとります。また人参は年中ありますが冬は旬を迎えるので、おせち料理やふだんのおかずで積極的に使いましょう。

食べ物なので体への作用はゆっくりです。一度にたくさん食べればよいというものではありません。あまり神経質にならず、気づいた時に旬のものを食べましょう。食べ物は栄養成分などの栄養学と薬食同源の中医学など色々な見方がありますが、自分の体が何を欲しているかを感じることも大事です。



また、必要時は医療機関に行くこともお忘れなく。皆さん、寒い冬を乗り越えましょう！

交通事故防止キャンペーンに 今年も参加・協力!!



平成26年12月9日(火) 10:30～13:00

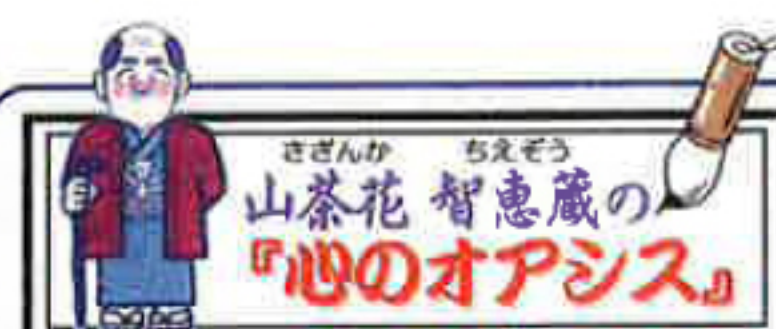
中国自動車道赤松パーキングエリアにおいて、行き交う人に交通事故防止・安全運転の呼びかけを行いました。

共催機関：兵庫県警察本部高速道路交通警察隊
NEXCO西日本神戸管理事務所

高齢者総合福祉施設「さざんかの郷」

【利用者・ボランティア
「かりんの会」】・NPO法人
「ゆずり葉福祉会」

【兵庫県地域安全グループ】



「おかあさん、
ぼくが生まれて
ごめんなさい」

「脳性マヒ」により生まれた時から全身が不自由で、書くことも話すこともできない養護学校のある男の子が、気の遠くなるような時間をかけて作り上げた詩が話題となりました。生まれた時から抱きかかえながら、世間の目を払いのけて育ててくれた、誰よりも強いお母さんへの感謝の気持ちを綴った詩は、今もなお人々にその何かを問いかけ続けています。

ごめんなさいね おかあさん
ごめんなさいね おかあさん
ぼくが生まれて ごめんなさい
ぼくを背負う かあさんの
細いうなじに ぼくはいう
ぼくさえ 生まれなかったら
かあさんの しらがもなかったらね
大きくなった このぼくを
背負って歩く 悲しさも
「かたわな子だね」とふりかえる
つめた視線に 泣くことも
ぼくさえ 生まれなかったら

ありがとう おかあさん
ありがとう おかあさん
おかあさんが いるかぎり
ぼくは生きていくのです
脳性マヒを 生きていく
やさしさこそが 大切で
悲しさこそが 美しい
そんな 人の生き方を
教えてくれた おかあさん
おかあさん
あなたがそこに いるかぎり

しかし、この詩が完成して2か月後、若くしてその男の子は亡くなりました。